

神奈川県横須賀市に「企業版ふるさと納税」を実施
観光、スポーツ振興を通じ「変化を力に進むまち。横須賀市」の実現へ

当社は、人々の豊かな暮らしを支える「サステナブルインフラ企業」です。
当社は、このたび、神奈川県横須賀市（市長 上地 克明）の「観光拠点強化事業およびスポーツによる地域への集客・誘客促進事業」に対して地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）に関わる寄付を実施し、横須賀市より感謝状を贈呈されました。



左：一般社団法人F・マリノススポーツクラブ 宮本 功 代表理事

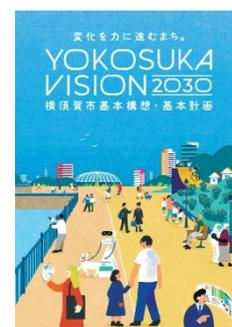
中央：横須賀市 上地 克明 市長

右：いちご(株) 執行役副社長兼 COO 石原 実

いちごは、日本全国に、不動産やクリーンエネルギー施設を保有・運営しております。サステナブルインフラ企業として、不動産に新たな価値を創造し、街や人々とともに、日本の将来に豊かさをもたらすことを目指しております。また2019年より、Jリーグのトップパートナーとしてスポーツビジネスを推進しており、当社の不動産技術やスポーツマネジメントノウハウを活用し最適なスポーツ環境づくりに取り組んでおります。

横須賀市は、昨年、2030年に向けて横須賀市のビジョンを描いた「YOKOSUKA ビジョン2030」を策定しました。横須賀市の未来像を「変化を力に進むまち。横須賀市」とし、

それに基づいた10の分野別未来像、分野ごとの政策の方針、市政運営の基本姿勢を示しています。分野別未来像の1つ、観光・文化における「ワクワクがあふれ出すまち」では、横須賀の地域資源を生かし、音楽、スポーツ、エンターテインメント等の力を融合させて、市民が地元に誇りや愛着を持てる仕掛けづくりや、それらを横須賀でしかできない体験としてブランディングし、市外からの集客につなげることを目指しています。



当社は、これらの取り組みを支援し、「ワクワクがあふれ出すまち」の実現に向けて、横須賀市をホームタウンとする横浜F・マリノスと連携し、地域資源のブランド化、スポーツ文化の創造等を支援します。

寄付の概要

寄付企業 いちご株式会社ほかグループ各社

寄付金額 4,000 万円

活用事業 「観光拠点強化事業およびスポーツによる地域への集客・誘客促進事業」

※ **本リリースに関するお問合せ先** いちご広報担当 **03-3502-4800**

以 上